



香美市駅伝競走

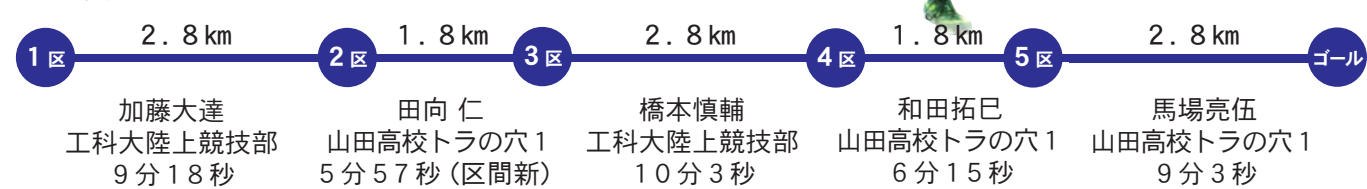
3月9日、森林総合センター周辺(土佐山田町大平)で、第7回香美市駅伝競走が開催されました。

大会ではオープン参加を含む19チームが力走し、山田高校トラの穴1(1区=森本紗和・2区=田向仁・3区=中里千穂香・4区=和田拓巳・5区=馬場亮伍)が優勝しました。



- 優勝 山田高校トラの穴1 (41分22秒)
 2位 高知工科大学陸上競技部 (42分42秒)
 3位 消すまでは心の警報ONのまま (45分41秒)

区間賞



香北弓道錬成大会

3月21日、香北町吉野の香北体育センター周辺を会場として第25回香北弓道錬成大会(香美市体育協会主催)が開催されました。

この大会は中・四国最大規模で、県内外の中学生から一般の個人383人、団体77チームが参加し、市内からも多くの団体・個人が参加しました。

上位入賞(市内関係者)

◆近的競技団体戦

- 3位 高知工科大A(宮庄恭平、嶋川翔太、松本遼、門田晃一、田原匡浩)

◆近的競技個人戦

- 少年女子の部3位 石川公美子(岡豊高校A)
 成年男子の部5位 山崎正臣(時久道場)

交通安全母の会 ランドセルカバー寄贈

3月26日、香美市役所で、香美市交通安全母の会から、4月に市内の小学校に入学した約190人の児童に、香美市イメージキャラクター龍河洞リュくんが描かれたランドセルカバーが贈られました。交通事故防止のために、これまでは市が制作していましたが、今回からデザインが一新され、母の会から寄贈されました。



▲ランドセルカバーと新入生

50畳に4文字の書

3月27日、ほっと平山の体育館で、安芸市出身の北川修久さん(毎日書道展審査会員)62歳が、約50畳(約縦5m×横15m)の紙に書を書き上げました。

北川さんが、このサイズでの書に挑戦するのは今回が初めてで、墨の準備に4時間以上かかりました。墨の入った1.5ℓのペットボトル3本を装着し、全体で20kg以上の筆を使い『無為自然』と書き上げました。

北川さんは高知大学の教育学部教授で、体力のあるうちに、挑戦したかったと話し、「書は全身で書くもの。線と線の間が大事」と二次元の書で、三次元を表現することの難しさを話してくれました。

この日、東京から訪れていた高野早苗さん(毎日書道展審査会員)は、「宿泊施設が隣接し、関東方面で施設を借りるよりも安くて、自然に囲まれ、いい環境です」と喜びの声を聞かせてくれました。

同会場では、4月12、13日に、立体象書研究会の講習会(全国規模)が開催されました。



▲豪快に書き上げる北川修久さん



▲愛好会メンバーが歌う様子の合成写真

チャリティー歌謡ショー

4月13日、奥物部ふれあいプラザで第24回チャリティー歌謡ショー(大柝カラオケ愛好会主催)が開催され、約700人が集まりました。

歌謡ショーの第1部では、愛好会のメンバーら18名が、日ごろの練習の成果を披露しました。第2部では、演歌歌手一葉さおりさん・野村未奈さん・山内恵介さんの歌声に盛り上がりしました。

ショーの収益金から、高齢者生活福祉センターこづみに、リクライニングキャリーシャワー・サイクロン掃除機(23万円相当)が寄贈されました。こづみの宗石剛所長は「地域が楽しみにしているイベントで、寄付はとても助けになっています」と感謝のことばを述べました。